

第4回 医療事故調査・支援センター主催研修について

1. **研修名** 「医療事故調査制度」における組織としての再発防止への取り組み
～貴重な事例の教訓をどう活かすか～
2. **目的** 医療機関の再発防止への取り組みや課題等を共有し、組織としての医療安全体制の構築について考える機会とする。
3. **対象者** 医療機関管理者及び医療安全担当者、及びそれに準ずる方
4. **日程・方法** 令和5年11月11日（土）13：00～16：00 ライブ配信
令和5年11月20日～令和6年2月20日 オンデマンド配信
5. **受講者数** 2,057人（医師407名、歯科医師23名、看護師1291名、助産師26名、薬剤師63名、臨床検査技師29名、臨床工学技士28名、診療放射線技師51名、理学療法士29名、作業療法士6名、歯科衛生士2名、事務職81名、その他21名）

6. 内容

「開会挨拶」 矢島 鉄也（日本医療安全調査機構 専務理事）

第1部 「医療事故調査制度の現況」

講師：宮田 哲郎（日本医療安全調査機構 常務理事）

第2部 提言書 中心静脈カテーテル挿入・抜去に係る死亡事例の分析－第2報－について

講師：宮田 哲郎（日本医療安全調査機構 常務理事）

第3部 「組織としての再発防止への取り組み」

座長：山口 徹（日本医療安全調査機構 顧問）

（講演1）「組織で再発防止に取り組むために 管理者の立場から」

講師：宇田川 晴司 氏（虎の門病院分院 分院長）

（講演2）「院内調査の実際と具体的な再発防止への取り組み」

講師：岡田 禎人 氏（半田市立半田病院 副院長）

（講演3）「職員が協働し再発防止へ取り組むための工夫」

講師：杳代 馨香 氏（武蔵野赤十字病院 看護副部長）

（講演4）「再発防止に対する遺族の思い」

講師：北田 淳子氏（一般社団法人とまり木 代表理事）

第4部 全体討論「再発防止への取り組みの現状と課題について」

座長：山口 徹（日本医療安全調査機構 顧問）

第3部講演者4名、宮田哲郎常務理事

「閉会挨拶」 矢島 鉄也（日本医療安全調査機構 専務理事）